

人と自然がいきいきと調和し、 真の豊かさと 幸せを実感できる山形

～山形で暮らして幸せ
山形を訪れて幸せ～



県民の皆様へ



少子高齢化を伴う人口減少の加速やグローバル化の進展、複雑化する国際環境、ICTの飛躍的な発展、災害の頻発・激甚化など、私たちを取り巻く社会経済環境は大きく変化しており、新たな対応が求められる課題が生じてきております。さらに、元号が「平成」から「令和」へと変わる中で、人々が「心の豊かさ」を重視する傾向が強まり、また、「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に向けた取組みが広がるなど、限りない「成長・拡大」の追求から、持続可能な成熟した社会において、暮らしのゆとりや楽しみの享受、自分らしさの発揮などの「真の豊かさ」を大切にす時代へと、大きく舵が切れつつあります。

こうした時代潮流の中で、本県が発展し続けるためには、時代の転換の先を見据え、中長期的な視点に立った新しい県づくりの方向性をしっかりと描き、県民の皆様と共有し、一体となって取り組んでいくことが重要となります。こうした考え方にに基づき、この度、県づくりの新たな指針となる「第4次山形県総合発展計画」を策定いたしました。

この新たな計画に基づき、本県ならではの人と自然との健全なバランスのもと、県民一人ひとりの希望や思いを大切に、将来にわたって持続的に発展し続ける、質の高い「新しいやまがた」の実現を目指してまいります。県民の皆様の積極的な参画をお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

第4次山形県総合発展計画とは

中長期的な視点から、県民の皆様と共に県づくりに取り組む指針となるものです。令和2年3月に策定しました。

計画の構成・期間

第4次山形県総合発展計画は、令和2年度から概ね10年間を計画期間とする「長期構想」と、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「実施計画」から構成されます。

長期構想

- 県づくりの基本的な考え方・基本目標
- 基本目標の実現に向けた政策・施策の展開の方向性

実施計画

- 長期構想の基本目標を実現するための主要な取組みの方向性
- 進行管理のための目標指標・KPI（重要業績評価指標）

基本目標

人と自然がいきいきと調和し、 真の豊かさと幸せを実感できる山形

県づくりの3つの推進力

基本目標を実現するため、『人材』『イノベーション』『国内外の活力』の3つをこれからの県づくりの推進力としていきます。本県の特長・資源を活かして、生活基盤を充実していくとともに、これら3つの推進力を活かした県づくりを通して、暮らしの質や地域社会・産業経済の活力など、県の総合力を向上していきます。これらにより、少子高齢化を伴う人口減少を乗り越えることを目指していきます。

①人材がいきいきと輝く県づくり

県民誰もが必要な知識や技術を身に付けることができるよう、子どもたちの未来を切り拓く力を育成する学校教育、社会に出てからの学び直しといった人材育成の新しい仕組みを築いていきます。また、年齢・性別等にかかわらず、意欲や能力に応じて活躍できる環境を整えます。

②イノベーションの創出・発信による県づくり

新しい価値を創造していく「イノベーション」は、本県が力強く発展するための源泉です。暮らしや産業、地域社会の様々な場面で、ICT等の先端技術の活用や、地域の特長・資源を活かした新たな商品・サービスの創出など、革新的で多様なチャレンジを進めていきます。

③国内外の活力を取り込む県づくり

本県が誇る自然や食といった資源、生きがいやゆとりを感じられる暮らしなどの特性を広く発信し、国内外の人々をひきつけ、観光・交流、移住を拡大します。また、これらを支える交通等のインフラを充実させていきます。

持続可能な開発目標（SDGs）実現への貢献

本計画の基本目標の考え方は、平成27年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念と軌を一にするものです。

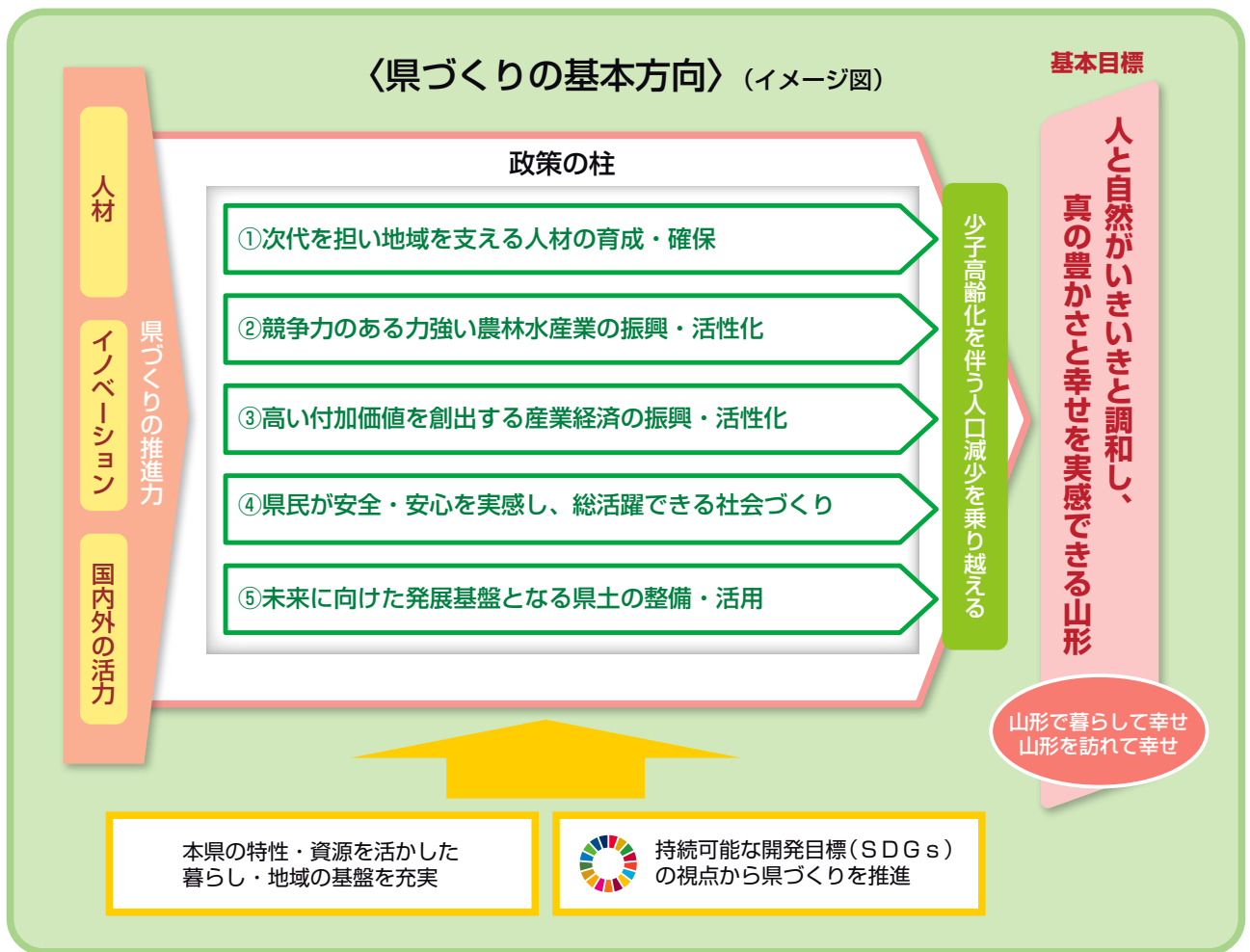
本県も、国際社会の一員として、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決していくことを目指すSDGsへの理解を深めながら、山形ならではの特長・資源を活かして本計画を推進することにより、SDGs実現に貢献していきます。



県づくりの5つの政策の柱

基本目標の実現、さらにはSDGsの実現に貢献していくため、次の5つの「政策の柱」を設定し、取組みを進めていきます。

- 【政策の柱 1】 次代を担い地域を支える人材の育成・確保
- 【政策の柱 2】 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
- 【政策の柱 3】 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
- 【政策の柱 4】 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
- 【政策の柱 5】 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用



政策推進の基本姿勢

計画に基づく県づくりを効果的かつ着実に展開していくため、次の6つを基本姿勢として政策を推進していきます。

- 県民視点・対話重視・現場主義
- 市町村との連携強化
- 多様な主体との連携強化
- 多様なチャレンジの推進
- 情報発信の充実・強化
- 健全な財政運営

政策の柱1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

1 学校教育の充実

グローバル化や技術革新が進展する中で、社会の変化に的確に対応しながら、新たな時代に羽ばたく人材を育成します。

【主な取組み】

- 基礎学力と応用力を培い、向上させる教育を充実します。
- 知徳体を育む教育を充実します。
- 情報活用能力や外国語能力など、社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育を充実します。
- 高等教育・専門的職業教育を充実します。
- 特別なニーズに対応した教育等を充実します。



ICT活用による
学習活動の充実



企業と連携した産業人材育成
(旋盤講習の様子)

2 生涯を通じた多様な学びの機会の充実

県民誰もが年齢にかかわらず活躍でき、また、新たな活躍に挑戦できる社会をつくるため、誰もがいつでも必要な知識や技能を学ぶことができる環境を整備します。

【主な取組み】

- 産業界や地域のニーズを踏まえた社会人の学び直しを促進します。
- 地域課題の解決に向けたノウハウや文化芸術・スポーツなど県民や地域に活力をもたらす多様な学びを促進します。



「高島熱中小学校」での
生涯を通じた学びの場づくり



やまぎん県民ホール
(山形県総合文化芸術館)

3 若者の定着・回帰の促進

地域社会や産業の担い手となり、次世代育成の役割も担う若者の県内定着・回帰を促進します。

【主な取組み】

- 子どもの頃から地域への愛着や理解を醸成します。
- 県内大学等との連携により若者の県内進学を促進します。
- 県内就業を促進します。



地域の魅力を学ぶ機会の充実
(郷土Yamagataふるさと探究コンテスト)



山形ワークフェス in 東京

4 国内外の様々な人材の呼び込み

地域活力の維持・向上に向け、移住・定住を促進するとともに、関係人口や外国人材の受入れ拡大を進めます。

【主な取組み】

- 多様なライフスタイルを提案・発信します。
- 総合的な移住施策を展開します。
- 県外在住者が本県との関わりを持つ多様な機会づくりなどにより、関係人口を創出・拡大します。
- 留学生等の外国人材の受入れを拡大します。



やまがた暮らし大相談会



留学生向け企業見学会 (バスツアー)

政策の柱2 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

1 やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成

地域農業を担う人材を確保し、地域農業を活性化していくとともに、将来を担う若者たちがチャレンジし、希望を持てる農業環境づくりを進めます。

【主な取組み】

- 多様な担い手を確保します。
- 高度人材を育成・活用します。
- 生産・経営基盤を整備します。
- スマート農業を展開します。



県立農林大学校の授業の様子



農業経営研修会の様子



スマート農業
(防除用ドローン)

2 収益性の高い農業の展開

農畜産物のブランド力の強化や需要開拓・販路拡大を進め、農業所得の向上を図ります。

【主な取組み】

- 「つや姫」「雪若丸」がけん引する力強い水田農業を実現します。
- 園芸大国やまがたに向け、産地づくりを推進します。
- 国際競争に打ち勝つ力強い畜産業を展開します。
- 6次産業化の展開などにより県産農産物の付加価値向上を図ります。



山形が誇るトップブランド米「つや姫」
／平成30年デビュー「雪若丸」



さくらんぼ新品種「やまがた紅王」



令和元年デビュー県産種雄牛
「福福照（ふくふくてる）」号

3 「やまがた森林ノミクス」の加速化

本県の豊かな森林資源を積極的に活用して、林業及び木材産業を振興し、雇用創出と地域活性化につなげるため、林業人材の育成・確保や森林経営の高度化を進めます。

【主な取組み】

- 収益性の高い林業を展開します。
- 県産木材の付加価値を向上させるとともに、利用拡大を図ります。



就業を目指す県立農林大学校
林業経営学科の学生



公共施設の内装木質化
(県庁ロビー)

4 付加価値の高い水産業の振興

県産水産物の高付加価値化や、漁業後継者の育成・確保の取組みを推進します。

【主な取組み】

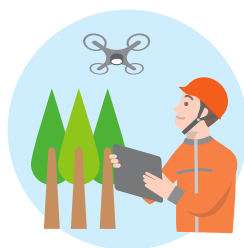
- 水産業の担い手を育成し、生産基盤を強化します。
- 庄内浜産水産物の特徴である少量多品種を活かした新たな魚種のブランド化など、水産物の付加価値向上を図ります。



庄内浜のトップブランド
「庄内北前ガニ」



令和4年度の本格デビューを目指す
山形サーモン「ニジサクラ」



政策の柱3 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

1 IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出

製造業をはじめとした本県の強みや先端技術を活かした多様なイノベーションを創出します。

【主な取組み】

- 飛躍的に進歩するIoT、ロボット、AI、ビッグデータなどの活用によりイノベーションを創出します。
- 次世代自動車、ロボット、医療・福祉、健康関連など、成長期待分野におけるイノベーションを創出します。
- 研修機会の充実やコワーキングスペースの整備など、イノベーション創出のための環境をつくります。
- 新たな事業の創出をけん引する人材を育成・確保します。
- 起業家・スタートアップ企業を創出します。



産業用ロボット
(導入イメージ)

本県発の先端技術
(左：有機EL照明付きメイクミラー
右：構造タンパク質素材を活用した製品)



2 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展

本県の産業に蓄積された知恵や知識、技術などを組み合わせ、中小企業等の成長・発展を促進します。

【主な取組み】

- 競争力のあるものづくり産業群を形成します。
- 地域をマーケットとして雇用創出と所得循環を担う産業を振興します。
- 国内外の広域的なマーケットを開拓します。
- 企業の持続的発展に必要な人材を確保し、円滑な事業承継を促進します。



山形県産品ポータルサイト
「いいもの山形」



自動車関連産業の展示商談会

3 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化

多様な地域資源を活かした交流の拡大を進め、域内の生産活動や消費活動を活性化します。

【主な取組み】

- 滞在型観光の推進や受入環境の整備など、観光地域づくりを推進します。
- 情報発信の強化やインバウンドの推進など、戦略的な誘客を促進します。
- 文化・芸術、スポーツなど地域の特性や魅力を活かした多様な交流を促進します。



出羽三山 山伏修行体験



蔵王の樹氷



政策の柱4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり

1 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化

頻発・激甚化する自然災害や感染症等の緊急事態に対して、県民の生命と財産を守る総合的な危機対応力を強化します。

【主な取組み】

- 防災関連のインフラ整備などにより、災害に強い強靱な県土をつくります。
- 自助・共助による地域防災力を向上します。
- 県民を守る災害対応力を充実・強化します。
- 雪害防止に向けた雪に強い地域をつくります。
- 新型コロナウイルス感染症対策をはじめとして、緊急事態に対する対応力を強化します。



県・市町村・防災関係機関・地域住民等が一体となった総合防災訓練



県衛生研究所でのPCR検査

2 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化

日常生活の脅威となる様々なリスクを最小化します。

【主な取組み】

- 様々な犯罪の予防と消費者保護を推進します。
- 交通事故防止のための取組みを強化します。



春の交通安全県民運動出発式
(文翔館)

3 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現

健康寿命延伸の取組みを進めるとともに、医療・福祉の提供体制を充実します。

【主な取組み】

- 県民一人ひとりの主体的な健康づくりを促進します。
- 質の高い医療を提供します。
- 誰もが居場所と役割を持って暮らす支え合いの地域づくりを推進します。



職場での健康づくりの取組み



県立新庄病院 新病院完成イメージ

4 多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化

多様な主体が参画する地域づくり・支え合い活動を促進します。

【主な取組み】

- コミュニティを支える多様な主体を育成・活用します。
- 暮らしやすく魅力的なコミュニティづくりを促進します。



地域運営組織形成に向けたワークショップの開催

5 総合的な少子化対策の新展開

これからの県づくりの担い手であり、次世代を生き育てる層となる若者の結婚・出産・子育ての希望を実現します。

【主な取組み】

- 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みを強化します。
- 安心して妊娠・出産・子育てできる環境をつくります。
- 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰を促進します。
- 子育てと仕事の両立に向けた取組みを強化します。
- 地域アプローチによるきめ細かな少子化対策を展開します。



やまがた出会いサポートセンターでの紹介の様子



育児ママ向けのおしごと相談会

6 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備

年齢、性別や障がいの有無等を問わない県民一人ひとりの多様な社会参画を促進します。

【主な取組み】

- 一人ひとりの多様な社会参加・就労を促進します。
- 外国人の受入環境を整備します。
- 多様な主体による社会的課題の解決に向けた取組みを促進します。
- 働き方改革を推進します。



若者相談支援拠点における活動の様子 (With 優 (米沢市))



元気な高齢者による宅配弁当作り活動 (鶴岡市木野俣自治会)

政策の柱5 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

1 暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装

県民や企業等がICTを積極的に活用できる環境を整え、地域・分野の特性に応じたICTの導入・利活用を加速します。

【主な取組み】

- ICTの積極的・効果的な利活用により県民生活の質や地域産業の生産性を向上します。
- 情報通信基盤などICTの早期実装に向けた推進環境を整備します。
- 誰もが安全にICTを利活用できる環境をつくります。



自動運転の実証実験車両

2 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成

国内外との人・モノなどの交流を支え、県民の暮らしや産業活動の重要な基盤となる交通インフラを整備します。

【主な取組み】

- 国際ネットワークの形成を促進します。
- 国内広域交通ネットワークを充実・強化します。
- 地域間・地域内交通ネットワークを充実・強化します。



東北中央自動車道(かみのやま温泉IC) 山形新幹線「つばさ」



3 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり

本県の豊かな自然環境、受け継がれてきた文化資産を将来の発展の礎として次世代に継承します。

【主な取組み】

- 自然環境や文化資産を保全・活用・継承します。
- 地球温暖化を防ぐ脱炭素社会をつくります。
- 再生可能エネルギーの導入を拡大します。
- ごみの削減や資源循環の促進等により、環境負荷を軽減する地域をつくります。



本県の優れた山岳資源
(以東岳(鶴岡市)山頂からの雲海)



庄内浜での風力発電

4 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成

都市や農山漁村地域の魅力を高め、それぞれの特性を活かした広域的な連携を推進します。

【主な取組み】

- 魅力あるまちづくりを推進します。
- 豊富な地域資源を活かして農山漁村地域を維持・活性化します。
- 圏域における広域連携を推進します。
- 県を越えた交流連携を推進します。



大学等との連携による空き家の
リノベーション(上山市)



宮城・山形の連携構想
(新MYハーモニープラン)の締結

5 持続可能で効率的な社会資本の維持・管理の推進

県有施設の長寿命化と維持管理コストの低減、有効活用を推進します。

【主な取組み】

- 効果的な維持管理手法の導入などインフラ機能の維持確保に向けたマネジメントを展開します。
- 社会システムを支える多様な主体と連携・協働します。



長寿命化のための橋梁点検

庄内地域



発展方向(目指す姿)

- 誰もが安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティが形成
- ものづくりから農業に至るまで、全ての産業分野にわたるイノベーションにより、地域経済が持続的に発展
- 精神文化や食文化、豊かな自然環境などの強みを活かし、空と海の2つのゲートウェイを起点として人とモノの交流がグローバルな規模で展開

主な取組み

- 庄内の人々の暮らしを支える活力あふれる地域コミュニティの形成
- 庄内の強みを活かし高い付加価値を創出する産業群の形成
- 庄内の交流・発展を支える社会基盤の形成



地元企業と行政機関の連携による中高生向けの職業体験会「WAKU WAKU WORK」



園芸施設の環境制御システム（ミニトマト）



庄内-成田便新規就航（庄内空港）

置賜地域



発展方向(目指す姿)

- 地域の技術力を結集したイノベーションにより新たな価値が創出され、ブランド力を活かして産業の収益力が向上
- 「人生100年時代」の到来に向け、多様な主体と連携した健康づくり活動拠点の形成が進み、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの取組みが進展
- 「県南ゲートウェイ」としての発展基盤の確立に向けた交通アクセスの強化が進展

主な取組み

- 置賜地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化
- 置賜の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成
- 人々の交流で賑わう置賜を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成



次世代ものづくり人材の育成



県立米沢栄養大学と連携した食の課題の検討



整備が進む国道113号梨郷道路と国道287号米沢長井道路

最上地域



発展方向(目指す姿)

- 住まう地域に誰もが愛着と誇りを持ち、四季を通していきいきと暮らせる地域社会が形成
- 先人が守り伝えてきた豊かな自然をベースに、農林業を起点として、地域に新たな価値と活力が創出
- 東西と南北の交通の結節点となる地の利を活かした広域的な人やモノの交流が拡大

主な取組み

- 多様な世代がいきいきと暮らす、人に優しい地域社会の新しい仕組みづくり
- 最上の地域資源を活かし、新たな価値を生み出していく地域戦略の展開
- 最上8市町村の連携・協働による地域づくりと基盤形成



新庄・最上ジモト大学



高性能林業機械による運搬作業



最上小国川流水型ダム

村山地域



発展方向(目指す姿)

- 教育・研究、文化・スポーツ、医療などの機能集積の強みを活かし、県内外から人材が集まり、人々が多様多彩に活躍
- 新たな産業のイノベーションが生まれるとともに、農業など地域の強みを活かした産業群の形成が進展
- 「連携中枢都市圏」の形成により、東南村山、西村山、北村山の3つの地域それぞれの強みを活かした取組みが進展

主な取組み

- 誰もが希望を持ち、いきいきと暮らし、多様な役割を担う村山の実現
- 村山の強みを活かし、交流や連携を基盤に持続的に発展する産業の形成
- 安全・安心な生活や、交流・発展を支える基盤の形成



村山地域の高校生の子育て支援体験



「村山インダストリー倶楽部」での企業間連携の構築支援



東北中央自動車大石村山ICとアクセス道路の整備



- 「第4次山形県総合発展計画」の全文は、県のホームページに掲載しております。
ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

県ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/>



- 計画の内容を県民の皆さんに知っていただき、これからの県づくりに一緒に取り組んでいただくため、県の担当者が皆さんのもとへうかがい、計画の内容を説明します。
詳しくは、県ホームページをご覧ください。

山形県みらい企画創造部企画調整課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL:023-630-2896 FAX:023-624-2775
E-mail:ykikaku@pref.yamagata.jp